



はっとり友則県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



本会議場で再質問に立ち上がる服部県議

市議会から県議会へ活躍の場を移して、すでに3期目を迎えた八千代市選出の服部友則（はっとり・ともり）県議は、9月定例県議会でも早くも自民党を代表して森田知事ら県執行部に対し、代表質問を行いました。服部県議は、これまでの一般質問では地元八千代市の行政課題を中心に取り上げてきましたが、今回は党の代表質問とあつて、全県的な立場から東日本大震災からの復旧・復興を願って論戦を展開しました。この中で、服部県議の質問と要望に応え、森田知事は、液状化によって被災した住宅再建支援にあたり、期限の延長や制度の拡充を約束しました。広範な質問項目の中から、震災対策など服部県議の主な質疑を特集しました。

震災対策、放射能問題などで論戦！ 液状化の期限や拡充を要望

9月県議会／自民党代表質問に登壇

服部議員
今定例会に
自由民主党
を代表して
質問を行
う八千代
市選出の
服部友
則です。
質問に
入る前

に、このたびの台風15号で被災されました方々に対し、心からお見舞い申し上げます。さて、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興は、すべての県民の願いです。そこで、伺います。千葉県震災復興旧及び復興に係る指針「原案」が示されたが、県としてどのように取り組んでいくのか。

森田知事 同指針原案においては、津波・液状化などの被害を踏まえた「防災対策上の課題」を整理したうえで、「地域のマンパワーの結集と共助による事業推進」など「4つの基本的な考え方」を記載しております。この考え方に沿いまして、復旧に向けた取り組みを全力で進めてまいります。

また、「復興」に向けて、「防災・危機管理体制の強化」など、中長期的に取り組むべき「6つの政策課題」を設け、それぞれの課題を踏まえて施策を展開することとしております。

服部議員 視察の際、市町村長からの要望のあった液状化等被害住宅再建支援期限の延長や制度の拡充について、どう考えていくのか。

森田知事 この支援事業は、多くの方面に利用していた

だきたいと思っていますので、期限を延長する方向で考えています。また、宅地内にある店舗や空き家となつていく住宅についても支援

災害対応力を支援

服部議員 復興に向けた市町村の支援について、県として地域の災害対応力を強化するため、どのように取り組んでいくのか。

森田知事 震災により被災した市町村では、復旧が進みつつありますが、これらの市町村をはじめ県内のいくつかの市町村では、震災の経験を踏まえ、災害に強いまちづくりを進めるための計画策定に取り組んでいます。

そこで県では、市町村が、東日本大震災からの復興に係る計画策定や、震災を契機とした災害対応力を強化していくための計画策定などに際し、支出した費用に対する補助事業を補正予算に計上しました。これらの費用はもちろんのこと、計画策定に係る住民との意見交換会にかかる費用も補助対象とするなど、市町村が利用しやすい補助金と考えております。

服部議員 市町村振興資金を活用し、どのように市町村の復旧・復興を支援していくのか。

このまちが好きだから
県政や八千代市のご相談、ご意見を聞かせてください

はっとり友則 県議事務所
〒276-0034 八千代市八千代台西 2-4-18
TEL. 047-485-1400
FAX. 047-485-1443

原発事故
への対応

県民の安全・安心を願って

服部議員の代表質問項目

1. 財政問題について
(1) 平成23年度予算
(2) 平成24年度当初予算
2. 震災対策について
(1) 「千葉県震災復旧及び復興に係る指針原案」
(2) 千葉県地域防災計画
(3) 石油コンビナート区域の防災対策
(4) 復興に向けた市町村への支援
(5) 公立学校の耐震化
3. 放射能の影響による諸問題について
(1) 福島第1原子力発電所事故に係る対処方針
(2) 大気環境中の放射線量の監視体制の強化
(3) 放射性物質に汚染された下水道の汚泥や焼却灰の処理
(4) 農林水産物の対策
(5) 観光業への対応
4. 新エネルギーの活用推進について
5. ハツ場ダムについて
6. 地方分権改革について
7. 児童虐待問題について
8. 農業の担い手対策について
9. 有害鳥獣対策について
10. 教育問題について
11. その他



代表質問の前に震災の被災地を視察する服部県議

服部議員 「東京電力福島第1原子力発電所事故に係る対処方針」が示されたが、放射能問題に対する県としての課題認識及び対応の考え方はどうか。

森田知事 放射能問題については、まず国が基準を

放射能問題で基本認識質す

作成し、基準を超えた場合の対応策を明確に示すべきと考えます。放射性物質が人に及ぼす影響を減らすため、体内被ばくについては、県民が暫定規制値を超える放射性物質を含んだ水や食糧等を体内に取り込まないよう、放射性物質がそれらの生産課程で入っていない体制づくりが必要であるとともに、体外被ばくについては、空間線量のモニタリングなどの監視体制の継続が重要であると考えています。

服部議員 県は福島第1原発事故以降、大気中の放射線量の監視体制強化にどう取り組んできたのか。

坂本副知事 県は、県環境研究センターでの毎時間の測定結果を公表し、その後も福島に近い旭市にもモニタリングポストを設置し、測定結果を公表しています。

また、身近な放射線量を知らりたいとの県民の要望に応えるため、新たに持ち運びのできる放射線量測定器を35台整備し、市町村と連携し、地域の実情に即したきめ細かな監視体制の強化に取り組んできました。また、放射線医学総合研究所の協力で、車載型線量測定システムによる測定を実施しています。

汚染汚泥は脱水処理で

服部議員 放射性物質が検出された汚泥のうち、特に放射性物質の濃度が高い下水道の汚泥については、どのように取り扱っていくのか。

石渡副知事 下水道汚泥のうち、手賀沼終末処理場の焼却灰は、測定開始以来、1キログラム当たり8千ベクレルを超える高い放射線セシウムが検出されています。国が示した考え方は、8千ベクレル以下は

埋め立て処分が可能です。手賀沼終末処理場の焼却灰は埋め立てができない状況です。

一方、焼却前の脱水汚泥は5百ベクレル前後の数値であり、埋め立て処分が可能です。ことから、脱水汚泥での搬出に向けて施設の改造を行うとともに、その受け入れについても複数の終末処分先と協議を進めているところです。

児童虐待で要望

服部議員 柏児童相談所における入所児童の略取事件を受け、今後どのような改善策を講じていくのか。

坂本副知事 今回の事件については、子どもの安全と生活の場を確保するための県の施設で、このような事件が発生してしまったこ

とは、誠に残念であり、県民の皆様にしりぞく感があります。二度とこのような事件が起きないよう、緊急の再点検を指示したところです。

今後の改善策としては、不審者の侵入を予防するため、各児童相談所にセンサ

PROFILE/服部友則県議

経歴	
昭和32年5月	八千代市生れ
昭和51年3月	県立船橋高校卒
昭和56年3月	山梨大学教育学部卒
昭和58年1月	八千代市議初当選(6回当選)
	八千代市議会議長
平成15年4月	県議会議員初当選
平成19年4月	県議会議員再選
平成23年4月	県議会議員三選
現職	
県議会	環境生活警察常任委員会委員
千葉県	都市計画審議会委員
八千代市	卓球連盟会長
八千代市	防災協会会長
八千代市	野球協会理事

県射撃場を再開へ

服部議員 イノシシの被害対策に伴い、千葉県射撃場の再開について、県の考え方と今後の予定はどうか。

石渡副知事 農作物に深刻な被害を与えているイノシシ等の大型獣を銃で捕獲する場合には、スラッグ弾が有効です。そのため、訓練施設は、県内では射撃場にあるライフル射撃場だけです。

県では、大型獣のより安全で事故のない捕獲を進めるため、ライフル射撃場の再開が急務であると考え、9月補正予算案に必要となる改修工事費などを計上し

たい。

と、親としてふさわしい人格になっていくかということが、これからは大事になってくるかと思うので、子育てに対して不安を持っている保護者の皆さんをきちんと指導していく、教えていく場を作っていく、この「親学」の推進をぜひとも県として、十分にバックアップしていくことを要望します。

要望 イノシシの駆除に銃を使うのは猟友会の方だが、高齢化も進み駆除することが大変であること、また、技術を維持向上させることが大変で、県内でそれができないことは大きな負担であると考えています。ただ今の答弁で、24年度に工事をして25年度に使えるということですので、大きく評価していきたい。